こんにちはカノデンキです

2027年問題ご存じですか？



損したくない方は必読！



家庭用エアコンの省エネ基準が変わります！！

2027年度から、経済産業省が定めた家庭用エアコンの
新たな省エネ基準が適用されます。
これは家庭用のエネルギー消費量の約3割を
占める冷暖房の効率を更に高めて、省エネルギーを推進するために
定められた制度となり、製造メーカーは新省エネ基準を達成した
エアコンしか生産できなくなります。

こんなマーク、見たことありませんか？
カタログ等に掲載されている省エネマーク

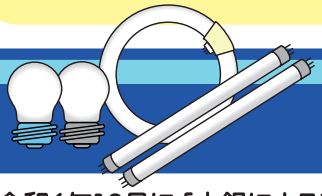
省エネ基準【達成】
2027年以降も製造継続

省エネ基準【未達成】
2027年以降は製造不可

今年のうちにお買い替えがおすすめです！



省エネ基準達成のエアコンは電気代が抑えられるため、
長い目で見れば**お得**です。今後も光熱費の値上がりが予測され、
在庫が豊富で取付工事も柔軟にスケジュール調整できる今がチャンス！



蛍光灯が買えなくなる！？

令和6年12月に「水銀による環境の汚染の防止に関する法律施行令の一部を改正する政令」が閣議決定されました。
これにより、一般照明用蛍光ランプの製造と輸出入が段階的に規制され、2028年1月1日以降は完全に禁止となります。
2027年内には店頭での在庫不足が予想されるほか、故障や寿命の際にすぐ交換できないリスクも高まります。
また、LED器具への交換工事も直前は混み合い、ご希望の日程に伺えない可能性があります。



蛍光灯照明器具をLED化する際、すでに長期間使用されているものが多いため

まるごと照明器具交換がおすすめです！

特に、直管LEDランプを用いたLED化では
右記のような**重大事故**につながる
可能性があります。
プロに任せるのが安心です。



原因
- LED ランプ種別選択の誤り・施工方法の間違い *1
- 器具（ソケット）の絶縁性能不足 *2
- 継続使用した安定器の劣化など *3





原因
- 継続使用したソケットの劣化
- ランプの質量超過
- 異常発生時のソケットの熱変形

*1　蛍光灯器具には様々な点灯方式があります。LEDランプ種別選択を誤ると不安全となるリスクがあります。
*2　直管LEDランプで、既設の蛍光灯器具の安定器を取り除く改造を行うものであっても、既設の蛍光灯器具では、通常10V未満の低い電圧しかかからなことを前提にして、ソケット部に求められる絶縁性能が定められています。直管LEDランプを使用する場合、想定以上の電圧がかかり、不安全となるリスクがあります。
*3　安定器などに使用される絶縁材料は、10年を過ぎると故障率が増加し始めます。（JIS C 8105-1 照明器具一第1部：安全性要求事項通則解説」）

＊上記に関しては東芝コンシューママーケティング株式会社が一般社団法人日本照明工業会承諾を得て、ホームページより引用しています

6290-6202



2027年問題で店舗から安いエアコンが無くなります。

株式会社カノデンキ
TEL 092-607-5000
福岡市東区和白丘3丁目21-5
0120-060877 FAX 092-607-5090
http://www.kanodenki.co.jp